

2021 年度事業報告書

公益財団法人滋賀県国際協会

I 事業概要

当協会は、滋賀県における国際交流活動を推進する中核的な団体として幅広い国際交流事業を展開している。今年度からは新たな第3期中期計画に基づき、「国際感覚に優れたひとづくり」「多文化共生の地域づくり」「ボランティア、市民活動団体の活動促進」「情報収集・提供による環境づくり」「協会の基盤整備」の5本を柱として事業を実施した。

昨年度に引き続き、新型コロナウイルスの感染状況が落ち着きを見せず、一部の事業ではやむなく中止とした事業があったものの、新型コロナウイルスを想定した「新しい生活様式」に沿った対策を講じながら、国際教育の研修や進路ガイダンスなどは対面で開催した。あわせて、ICTを活用したオンラインによる研修や交流会も開催するなど状況に応じて事業を実施した。

また、コロナ禍において生活環境悪化の影響を受けやすい外国人県民等に寄り添った支援を継続的に行うため、多言語での感染症関連情報の発信に努め、外国人県民等が地域の一員として安心して生活できる多文化共生社会づくりに引き続き取り組んだ。

新たに開始したライブチャンネルでは、湖南省（中国）やモロッコとつなぎ、海外に行くことなく身近に国際交流を体験できる機会を提供した。

加えて、大規模災害等発生時に、当協会事業の運営および管理を的確かつ円滑に実施するためにBCP（事業継続計画）の策定を行った。

II 事業実績

〔自主〕：自主事業、〔助成〕：助成事業、〔補助〕：補助事業、〔委託〕：委託事業

《 国際感覚に優れたひとづくり 》

1 国際教育啓発事業

（1）国際教育・開発教育の普及（オリジナル開発教材の普及）〔自主〕

① オリジナル開発教材の普及

独自に開発した国際教育教材の普及を図るため、ワークショップの開催や講師派遣による実演、教材の貸出、販売等を行った。

- | | |
|----------------------|-----------|
| ○「ブラジルボックス」 | 貸出件数：17件 |
| ○「非識字体験ゲーム」ここは、何色？ | 販売数：22セット |
| ○「言葉がわからない」体験ゲーム震災編 | 貸出件数：1件 |
| | 販売数：24セット |
| ○「わたしん家の食事からカードゲーム版」 | 貸出件数：1件 |
| | 販売件数：9セット |

② オリジナル開発教材普及促進のための講師派遣

オリジナル開発教材を活用した授業・研修等に対して講師を派遣し、持続可能な社会づくりに向けて実際に行動できる人材の育成に努めた。

派遣数：4件

③ 国際教育教材体験フェア in 滋賀 2021 の開催 (共催：JICA 関西)

開催日：8月11日(水)

会場：コラボしが21(大津市)

参加者：48人

内容：全体会講義

「国際教育・多文化共生の必要性～多国籍化する学校現場から～」

分科会1「何ができた？～言葉の違いを前にして～」

分科会2「貿易ゲーム」

分科会3「世界の通学路」

分科会4「感染症から考える SDGs アフリカ編～識字率と教育の格差～」

④ 国際教育教材の貸出

・所蔵数：701冊／点

・貸出件数：8件、貸出点数 延べ34点(オリジナル教材を除く)

(2) 国際教育の研究 [自主]

国際教育研究会「Glocal net Shiga」による研究

研究会開催回数：12回、参加者：延べ188人 ※対面・オンライン参加含む

(4/18：18人、5/23：15人、6/27：19人、7/18：19人、8/11：17人、

9/12：14人、10/17：13人、11/28：14人、12/26：20人、1/30：17人、

2/23：10人、3/13：12人) (開催日：参加者)

(3) 国際教育の担い手の育成 [自主]

① ファシリテーター養成講座の開催 (共催：JICA 関西)

国際教育ワークショップ

「地球市民を地域とともに育てよう Part 20 ファッションをもっと豊かに
サステナブルに！」

内容：【午前の部】映画上映「The True Cost ～ファストファッション真の代償～」

【午後の部】ワークショップ

「ファッションをもっと豊かにサステナブルに！」

講師：【午後の部】八木 亜希子さん(認定NPO 法人開発教育協会)

開催日：2月23日(水・祝)

実施方法：オンライン Zoom

参加者：延べ83人(午前の部 50人、午後の部 33人)

② 国際教育の相談対応・出張講座のコーディネート

ア. 国際教育講師紹介、教材・授業案に関する相談対応：42件

イ. 講師派遣数：7件(オリジナル開発教材講師派遣数含む)

ウ. 講師(国際協会職員)派遣、訪問研修受入

・ 6/4 全国市町村国際文化研修所(JIAM) 参加者 37人

「自治体外国人施策の実務～第一線で

対応する方のために～」研修

・ 7/5 比叡山高校 教員人権研修 参加者 50人

・ 8/5	大津夜まわりの会 大津ひまわりの家	参加者	21人
・ 8/9	JICA 関西教師国内研修 多文化共生教育教材体験	参加者	14人
・ 10/14	豊郷町人権学習講座	参加者	31人
・ 12/1	栗東市立治田西小学校	参加者	26人
・ 12/7	甲賀市立貴生川小学校	参加者	80人
・ 1/15	NPO 法人あめんど「こども未来塾」ボランティア研修会	参加者	22人

エ. 国際教育協働推進事業報告書発行 3月

オ. アドバイス等

開発教育協会関西ブロック運営委員会委員（主催：（特活）開発教育協会）

③ 「国際教育」に関する教員研修への参画

滋賀県人権教育課および滋賀県総合教育センターより依頼を受け、教員対象研修を担当した。

○滋賀県人権教育課〔人権教育基礎講座〕 ※教職2年次全教員対象

彦根会場

開催日：6月25日（金）

会場：彦根勤労福祉会館たちばな（彦根市）

参加者：83人（1回目 60人 2回目 23人）

大津会場

開催日：6月29日（火）

会場：滋賀県庁（大津市）

参加者：88人

○滋賀県総合教育センター〔自己啓発研修(選択研修)「国際理解」〕

開催日：8月11日（水）

※全教員対象〔再掲〕

会場：ピアザ淡海（大津市）

参加者：20人（国際教育教材体験フェア対面参加者）

（4）インターンシップの受入

NPO 法人ドットジェイピーを通じて派遣された大学生インターンの受入を行った。

受入期間：2月3日（木）～3月23日（水）

受入人数：3人

2 国際交流推進事業

（1）国際交流・協カライブチャンネルの開催 〔自主〕

県姉妹友好州省駐在員や JICA 関係者等と当協会をオンラインでつなぎ、交流や情報交換をライブ配信で行い、海外に行くことなく身近に国際交流を体験できる機会を提供し、国際交流・協力の裾野を広げた。

実施方法：オンライン Zoom

【プレ開催：中国・湖南省】

開催日：8月11日（水） 参加者： 7人

【第1回：中国・湖南省】

開催日：9月24日（金） 参加者：21人

【第2回：モロッコ】

開催日：3月5日（土） 参加者：25人

(2) ミシガン州立大学連合日本センター（JCMU）の管理運営 [委託]

新型コロナウイルス感染症の世界的な感染拡大が継続していたため、アメリカからの留学生来日は中止となり、日本語・日本文化プログラムの実施はなし。

① 施設の維持管理

新型コロナウイルス感染拡大防止対策をはじめ、設備機器の保守点検および修繕等を適宜実施し、適切な施設の管理運営を行った。

② 英語プログラムの運営支援

センターが開催する英語プログラムの円滑な運営を図るため、広報活動の推進や国内諸機関と連絡調整を図った。

ア. 英語プログラムパンフレットの作成・配布

・ 県民向け英語プログラムパンフレット

作成部数：学期用 4,000 部／回

作成配布：4回(5月:夏学期、7月:秋学期、10月:冬学期、2月:春学期)

・ 子ども英語教室パンフレットの作成・配布

作成部数：500 部／回

作成配布：1回（3月）

・ 国内留学プログラム

オンラインでの開催のため、ホームページ等を中心に広報を行った。

イ. 英語プログラム受講者数

【1. JCMU で実施した講座】

受講者数

県民向け英語講座（年4学期） 308人

（うち彦根教室 233人）

（うち近江八幡教室 75人）

こども英語教室 82人

高校英語講座（米原高校：4日間） 31人

長浜市教育委員会小学校・中学校等教員研修（6回） 48人

甲良町（せせらぎ探検隊） 8人

【2. 講師派遣】

受講者数

滋賀県立大学 402人

滋賀大学 66人

聖泉大学 64人

滋賀県立看護専門学校 36人

米原高校	123人
光泉カトリック高校	18人
河瀬中学・高校	56人
虎姫高校（1年間、教官派遣）	16人
虎姫高校	147人
国際情報高校	48人
水口高校	20人

（３）ミシガン日本センターを活用した地域との交流プログラムの実施 [委託]

① 地域交流事業

- ・ 6/3 彦根市内小学校への講師派遣（ミシガン州や姉妹都市交流等の紹介）
- ・ 11/5 第31回ミシガンカップ滋賀県高校生英語 参加者 43人
スピーチコンテスト開催支援

② 公開講座等の開催

英語プログラム体験講座（11月27日（土）、30日（火）・参加者 5人）

（４）姉妹友好州省からの受入

ミシガン州友好親善使節団の受入

※新型コロナウイルス感染拡大の状況を考慮し、中止

（５）姉妹友好州省等交流代表団の受入等 [委託]

（一財）日中イノベーションセンター受入

受入人員 2人
受入期間 12月22日（水）

《 多文化共生の地域づくり 》

1 外国人住民への支援

（１）しが外国人相談センターの設置 [補助]

① 相談窓口状況

- ・ 相談件数：2,205件（前年度 1,603件、対前年度比 137.5%）
（うち、新型コロナウイルス感染症関連 相談件数 853件）
- ・ 相談内容：入管 139件、雇用・労働 136件、社会保険・年金 171件、税金 38件、医療 741件、出産・子育て 60件、教育 118件、日本語学習 23件、防災・災害 0件、住宅 66件、身分関係 77件、交通・運転免許 26件、通訳・翻訳 28件、その他 582件

② 法律相談の実施（協定：滋賀弁護士会）

相談件数：12件

③ 在留資格出張相談会の開催（進路ガイダンス同時開催）

開催日：10月23日（土）

会 場：滋賀県男女協働参画センター G-NET しが

相談対応：大阪出入国在留管理局職員

相談件数：2件

④ 広報啓発および出張相談活動「みみタロウキャラバン隊」フォローアップの実施

「みみタロウキャラバン隊」の派遣

派遣日時・回数：3月4日（金）、11日（金） 2回

巡回地域：彦根市、長浜市、甲賀市、湖南市、東近江市

巡回先：県内の外国食材店およびレストラン等 18店舗

メンバー構成：

昨年度メンバー（留学生）およびびわこ奨学生、インターン生

⑤ 外国人相談員等研修会、連絡会議の開催 [補助]

ア. 研修会

[第1回研修会]

テーマ：「相談員の心構え ～相談支援の基本とは～」

講 師：松村 裕美さん（犯罪被害者支援センター 副理事長）

開催日：2月2日（水）

会 場：ピアザ淡海（大津市）

参加者：11人

[第2回研修会]

テーマ：「外国人の在留資格制度について」

講 師：若村 信一郎さん（大阪出入国在留管理局審査管理受入環境
調整担当 在留支援担当）

開催日：2月16日（水）

実施方法：ピアザ淡海（大津市）およびオンライン Zoom

参加者：25人

[第3回研修会]

テーマ：「ひとり親家庭の支援について～滋賀県母子福祉施設の取組事例等から～」

講 師：坂下 ふじ子さん（滋賀県ひとり親家庭総合サポートセンター長 / 社会福祉法人滋賀県母子福祉のぞみ会 常務理事兼事務局長）

開催日：3月2日（水）

実施方法：オンライン Zoom

参加者：23人

イ. 連絡会議

第1回 2月2日（水） 参加者 11人

第2回 3月2日（水） 参加者 9人

(2) 多言語による情報発信 [補助] [自主]

① 外国人向け情報紙「みみタロウ」の発行

発行回数：年4回（No.139～No.142）

発行部数：計20,000部／回

（内訳）日：2,800部、英：2,300部、ポ：4,400部、ス：2,200部、

ハ：1,300部、中：2,200部、台：1,100部、タ：1,900部

ベ：1,100部、イ：700部

② ホームページおよびSNSによる生活情報等の発信

県内に在住する外国人県民等が必要とする生活情報等を、ホームページの生活Q & Aをはじめとするツールを使用し、11言語での情報提供を行った。

新型コロナウイルスに関する情報について、県と連携し、国や省庁、県などの公的な情報はじめ、県内最新の感染者状況等について多言語で発信した。

[※以下、県・当協会が翻訳を行った情報のみ]

滋賀県からのお知らせ 58件

SIA 独自情報 10件

SIA Facebook 136件

(3) 外国にルーツを持つ子どもへの教育支援

① 外国にルーツを持つ児童生徒と保護者のための「進路ガイダンス」の開催

開催日：10月23日（土）

[自主]

会場：滋賀県立男女共同参画センター G-NET しが（近江八幡市）

参加者：56人（8か国18組）
〔 外国にルーツを持つ児童生徒 18人
保護者 28人、引率・見学者 10人 〕

※在留資格出張相談会同時開催

② 外国にルーツを持つ子どもへの日本語指導者養成講座 Part 13 [自主]

講師：浜田 麻里さん（京都教育大学教授）

開催日：12月24日（金）

会場：ピアザ淡海（大津市）

参加者：45人

※滋賀県教育委員会、外国人児童生徒教育担当者配置校連絡協議会連携研修

③ その他

●甲賀市教育委員会主催「進路ガイダンス」（10月4日）進路資料提供

●あすかアカデミア特待生卒3人新設（進路ガイダンス参加者より1人進学）

(4) 災害時の外国人県民等支援

① 「災害時における外国人県民等支援に関する協定書」にもとづく予防活動の実施

※新型コロナウイルス感染拡大により令和3年度滋賀県総合防災訓練は中止。

② 災害時外国人サポーター登録および研修

「災害時外国人サポーター養成講座～基礎編～」（共催：滋賀県）

内容：大阪府北部地震支援事例紹介とやさしい日本語ワークショップ

講師：岩城 あすかさん〔（公財）箕面市国際交流協会 事務局次長〕

開催日：9月11日（土）
実施方法：オンライン Zoom
参加者：31人

③ 多言語非常持出袋、防災多言語資料の貸出・配布

非常持ち出し袋貸出件数：0件
県内警察署外国人県民等向け安全教室への多言語防災資料提供数：4件

④ 消防職員対象 緊急時外国人対応に関する研修会への講師派遣等
〔初任教育研修〕

開催日：7月13日（火）
参加者：65人

⑤ 近畿地域国際化協会連絡協議会 災害時外国人支援研究会への参加

近畿の地域国際化協会で構成する「災害時の外国人支援に関するネットワーク近畿ブロック研究会」の一員として広域連携の強化を図り、同研究会の研修会や訓練に参加し、予防対策と発災後対応（応急対策）の両面での広域的な支援体制づくりを行った。

【研究会】4回（6/24、10/7、1/21、3/10）

【共催研修への参加】 ※協会職員等が参加

・10/22	災害時緊急連絡訓練	参加者	4人
・11/4	テーマ別担当者意見交換会	参加者	1人
・12/18	大阪市「区と連携した災害時外国人支援・災害 多言語支援センター運営研修」	参加者	2人
		（うち1人はベトナム語 災害時外国人サポーター）	
・12/23	和歌山県多言語支援センター設置運営訓練	参加者	1人
・1/27	災害時緊急連絡再訓練	参加者	4人
・3/4	大阪府広域翻訳支援研修	参加者	1人

⑥ 委員等

○ 甲賀市多文化防災会議メンバー

※甲賀市・市協会間の災害時外国人支援協定締結にもとづく活動

・3/13 2021年度甲賀・湖南広域連携事業 参加者 2人
「災害時の外国人支援・多言語情報支援に関する訓練」
（訓練参加者：42人）

○ 滋賀県災害時ボランティアネットワーク会議／要配慮者支援ネットワーク（事務局：滋賀県社会福祉協議会）委員

○ 災害情報・防災情報関連の多言語情報発信（Facebook）

（5）その他の外国人支援 【自主】

① 日本語教育の支援

ア. 日本語指導者養成講座（共催：びわこ日本語ネットワーク）

講師：片平 協子さん（滋賀 YMCA 日本語コーディネーター）

開催日：11月14日（日）、12月5日（日）、19日（日）（全6回）

会場：コミュニティーセンターきたの（野洲市）

参加者：56人

イ. びわこ日本語ネットワーク「第 18 回外国人による日本語スピーチ大会」への開催協力

開催日：3月6日（日）

会 場：草津アミカホール（草津市）

参加者：会場入場者 約90人

発表者：10人

■滋賀県国際協会会長賞：「母国スーダンのためにやりたいこと」
ラヤーン ハーミド アレバキートガ スマツラーさん（スーダン）

② 県内日本語教室等の情報提供

外国人向け情報紙およびホームページで県内日本語教室および外国人相談窓口情報の提供を行った。

③ 日本語教材・ブラジル教科書・関連図書の貸出

日本語指導教材蔵書数：340冊

ブラジル教科書蔵書数：51冊

④ 多言語情報の提供等

多文化共生学校づくり支援サイト、多言語防災情報〔再掲〕、外国語が通じる病院の情報提供、多言語子育て情報サイト、生活Q & A等で随時情報を提供した。

⑤ しがウクライナ避難民応援支援金の募集

ウクライナから滋賀県に避難された方々を救援するために支援金の募集を行った。

受付期間：3月22日～

募金収集方法：募金箱の設置（滋賀県庁、ピアザ淡海、文化産業交流会館）
専用口座への振込み

（6）外国籍留学生への奨学金の支給 〔自主〕

びわこ奨学金支給事業（基金：3億円）

・留学生 支給額：月額20,000円 支給人員：9人（申請20人）

【びわこ奨学金授与式】

開催日：6月29日（木）

会 場：ピアザ淡海（大津市）

参加者：奨学生9人 および 引率者（大学担当者）4人

2 多文化共生によるまちづくり

（1）多文化共生に関する情報提供やアドバイス等 〔自主〕

① 外国人住民支援・多文化共生に関する相談対応：94件

② アドバイス等

- 生活者としての外国人のための地域日本語教育推進アクションプラン（仮称）
検討懇話会委員
- 滋賀県夜間中学および多様な学びに関する検討会委員

- 「帰国・外国人児童生徒教育指導連絡協議会」資料提供（11/26）
- 長浜市多文化共生・国際化のまちづくり市民会議委員
- 滋賀県介護職員人材育成事業（湖南地域）外国人介護職員養成研修広報協力
- 人権に関する県民意識調査の実施への協力（滋賀県）
- 敦賀海上保安部への広報啓発協力 お知らせ（多言語）「GW中『海の事故』にご注意を！！」

③ 講師等（国際協会職員）派遣等

・ 6/12	第3回 彦根にほんご教師会「日本語ボランティア養成講座&日本語ブラッシュアップ講座」2021	参加者	8人
・ 6/27	（公財）世界問題人権研究センター 「移住者と人権」チーム共同研究会 「移住労働者とその家族の国際人権保護基準に基づいた法基盤整備の総合的研究」事例報告	参加者	7人
・ 6/28	滋賀県立大学多文化共生論	参加者	96人
・ 7/7	CLAIR 多文化共生事業ローカライズ研修（オンライン）	参加者	21人
・ 7/21	CLAIR 多文化共生事業ローカライズ研修（オンライン）	参加者	18人
・ 7/29	JIAM 令和3年度「多様性を生きる『次世代』の育成～外国につながりを持つ子どもたちへの学習支援～」	参加者	17人
・ 8/9	JICA 関西教師国内研修 事業紹介（オンライン）	参加者	14人
・ 9/30	同志社女子大学生卒論ヒアリング受入れ「外国人技能実習制度」	来所者	1人
・ 10/22	JICA 関西フレッシュ職員見学事業紹介	来所者	6人
・ 11/4	同志社女子大学生卒論ヒアリング受入れ「滋賀県における多文化共生社会—滋賀県東近江市の例をもとに」	来所者	1人
・ 11/25	令和3年度多文化共生地域会議（近畿ブロック）事例紹介（オンライン）	参加者	52人

《 情報収集・提供による環境づくり 》

1 情報収集・提供事業

（1）国際交流・協力情報誌「SIA しーあ」の発行 【補助】 【自主】

発行回数：年3回 118号（7月）、119号（11月）、120号（3月）

発行部数：2, 500部／回

（2）メールマガジン「滋賀県国際交流ニュース」の配信 【自主】

発行回数：毎月1回

送信件数：402件／回

（3）インターネット・ホームページによる情報提供 【自主】

- ① 協会ホームページ 閲覧数：158, 569（前年度 132,000）
月平均：13, 200（前年度 11,000）

- ② S I A Facebook リーチ数 : 1 4 2, 5 6 7 (前年度 212,106)
記事投稿件数 : 1, 6 2 5 (前年度 2,066)

③ アドバイス等

- 滋賀県広報戦略検討懇話会委員
第1回 6/17、第2回 11/19 オンライン参加

(4) 国際情報サロンによる情報提供 [補助][自主]

- ① サロン展示事業および啓発展示
・ 滋賀県国際協会の事業紹介
- ② 交流スペースの貸出 38回
- ③ 国際情報サロン図書等の貸出 (日本語教材、国際教育教材を除く)
サロン図書の貸出 1件、1点
国旗の貸出 (普通旗・卓上旗)
・ 貸出: 12件、延べ45点 (8か国・地域)

(5) 関連機関・団体との連携・協働による事業実施 [再掲]

- ・ 法務省大阪出入国在留管理局 (進路ガイダンス)
- ・ 県教育委員会、市教育委員会等 (進路ガイダンス)
- ・ 県総合企画部国際課、感染症対策課 (新型コロナウイルス相談窓口)
- ・ 県医療福祉推進課 (外国人介護職員養成事業の実施協力等)
- ・ 県労働雇用政策課、テクノカレッジ米原 (定住外国人向け職業訓練コース)
- ・ 日本国際協力センター (JICE) 関西 (外国人就労準備研修)
- ・ 外国人材受入れサポートセンター (外国人の雇用等)
- ・ 滋賀弁護士会 (法律相談)
- ・ JICA 関西 (開発教育・国際教育研修の実施)

(6) 海外渡航の支援 [自主]

- ① 渡航相談業務 0件
- ② 写真撮影 (パスポート用写真の撮影)
※ 新型コロナウイルス感染拡大の影響によるパスポート申請者数
激減のため、2020年4月27日(月)より撮影業務休止。

《 ボランティア、市民活動団体の活動促進 》

1 ボランティアの活動促進 [自主]

(1) S I A ボランティアの登録・紹介 (3月31日現在)

国際交流支援	登録: 73人、紹介: 1件、5人
ホームステイ・ホームビジット	登録: 60人
通訳・翻訳	登録: 122人、紹介: 1件、1人
登録者数合計	延べ 255人 (166人)

- ・ ボランティア オリエンテーション：随時
- ・ 関西国際交流ボランティアネットワーク会議（KIV-NET）運営委員
10/27 KIV-NET（関西国際交流ボランティアネットワーク）総会
（兼 運営委員会） オンライン出席

（２）災害時外国人サポーター登録制度（３月３１日現在）

- ア．登録者数：１２８人（１６言語に対応）
- イ．講座および研修への参加案内等
 - ・ 12/18 近畿 CLAIR 副会長研修（大阪市多言語支援センター運営研修）
ベトナム語翻訳対応オンライン参加 １人〔再掲〕

（３）ボランティア情報の発信

- メーリングリストによる情報提供：４２件
- ボランティア相談対応：５件

２ 市民活動団体等活動促進事業 [自主]

（１）滋賀県国際交流推進協議会の運営支援

参加団体：６８団体（地域協会部会 １６団体、団体部会 ５２団体）

① 全体会議・部会会議

開催日：７月１６日（金） オンライン
参加者：２４人

② 全体研修会

テーマ：「ベトナムを知る」
講 師：ブイ ティ タオさん（在滋賀ベトナム青年会）
加藤 忠宣さん（彦根相互事業協同組合専務理事）
開催日：１０月８日（金）
実施方法：オンライン Zoom
参加者：４９人

③ 運営委員会

開催回数：２回
開催日：５月１１日（火）、３月１６日（水）

④ Zoom 情報交換会

開催日・参加者数：
８月２５日（水）１６人、１０月２７日（水）１５人、
１２月２１日（火）１５人、２月２５日（金）１１人

（２）市民活動団体等への支援

- ・ 後援事業数 ９件
- ・ その他、県内の関連団体等からの相談に随時対応。

(3) JICA国際協力推進員の活動

独立行政法人国際協力機構（JICA）関西センターから駐在（1人）

国際協力に対する県民の理解促進と支持の拡大および国際協力活動への参加促進を目的に活動した。

《 協会の基盤整備 》

1 会員および支援者の確保

会員向け事業やサービスの充実を図るとともに、講座やワークショップ開催時など各種機会において入会の案内を行った。

あわせて、来所者や国際情報サロン利用者に対して協会実施の事業や趣旨、意義について説明をすることで、会員確保に向けての啓発を行った。

＊税額控除証明書を2017年11月29日に再取得。

（個人からの寄付《会費も含む》について、税額控除される法人として認定）

○寄附金：3件、152,000円

○会員数 個人会員：236人（前年度末：237人）

団体会員：89団体（前年度末：90団体）

計 325会員（前年度末：327会員）

2 協会のBCP(事業継続計画)の策定

大規模災害等発生時に、当協会事業の運営および管理を的確かつ円滑に実施するために、BCP(事業継続計画)を策定した。